

支出命令書

決裁日 平成27年 9 月 7 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月7日	整理番号	5478-10
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費		確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費		タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費		源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業		被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金		通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費			
金 額		¥1,110		検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住 所			金融機関	
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎			支 店	
	職氏名			預金種別	
				口座番号	
				伺 残 額	¥481,545
摘 要	広報広聴費			支払予定日	平成27年9月18日
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(8月分)製作料			支払明細 整理番号	007
	分担金			請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成 27 年 9 月 18 日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547801105

泉大津市



27.9.-1

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 7 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷正一郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	1, 1 1 0 円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成27年8月購入分チラシ製作料分担金		
支 払 先	(株) キングプリンターズ		
予 算 科 目	広報広聴費	交 付 残 額	481,545 円
使 用 者 名	市民クラブ		

議会傍聴よびかけ隊
平成27年8月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ
大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21

A4チラシ 3,000枚 9,400円(消費税込)①

①÷議員数 9,400 ÷ 17人 = 552.9412 円②

【分担額】

公明党 ②×3人=	1,650 円
日本共産党 ②×2人=	1,110 円
市民トライネット ②×3人=	1,650 円
市民クラブ ②×2人=	1,110 円
おづ ②×2人=	1,110 円
同志会 ②×2人=	1,110 円
立志会 ②×2人=	1,110 円
井阪 正信 ②×1人=	550 円
合計	9,400 円

領収書

領 収 証

No. A 08608

泉大津市議会 様

平成27年8月31日

金 額	百	千	円
¥9400			

注文番号: 1083582

上記の金額正に領収いたしました

現金	
小切手	
手形	
相殺	

KINGprinters

株式会社 キングプリンターズ

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2389

取扱者

支出命令書

決裁日 27 年 8 月 17 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局			起票日	平成27年9月17日		整理番号	5478-11	
年 度	平成27年度		会 計	一般会計				予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費				確 認 事 項		確 認	
項	1	議 会 費				タイムカード(出勤簿)			
目	1	議 会 費				源 泉 徴 収			
細目	4	議会調査研究事業				被服貸与台帳記載			
節	19	負担金、補助及び交付金				通勤経路及び金額			
細節	45	政務活動費							
金 額	¥30,000.					検収者 			
控除額						支払方法	通常支払		
債 権 者	登録No. 99999					支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手		
	住 所					金融機関			
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎					支 店			
	職氏名					預金種別			
						口座番号			
						伺 残 額	¥451,545		
摘 要	研究研修費					支払予定日	平成27年10月6日		
	10/21 地方創生、地域活性化にむけて【応					支払明細 整理番号	001		
	用編】 受講料					請求書番号			

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙

支出負担行為確認



支 払 済



2015000547801114

泉 大 津 市



27.9.17

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 17 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	30,000円		
内 訳	地方議員研究会主催セミナー 地方創生、地域活性化にむけて【応用編】 受講料		
支 払 先	(株) 地方議員研究会		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	451,545円
使 用 者 名	丸谷 正八郎、南出 賢一		

領 収 証

丸谷 正八郎 様

27 年 10 月 21 日

★

¥15,000

但「地方創生、地域活性化にむけて(応用編)」

10/21 14:00～ セミナー受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297

領 収 証

南出 賢一 様

27 年 10 月 21 日

★

¥15,000

但「地方創生、地域活性化にむけて(応用編)」

10/21 14:00～ セミナー受講代として

上 記 正 に 領 収 いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目1-3-23F 7-3

TEL 06 (7878) 6297

政務顧問費2.80
(日経新聞)

元武雄市長

ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐氏

特別講演

10月20日(火) in 広島

10月21日(水) in 東京

10:00

～

12:30

地方創生、地域活性化にむけて[基礎編]

- ・武雄市での取り組み
- ・自治体経営の改革と情報発信
- ・Facebookを用いることで何が起きたか
- ・これからの地方議員にむけて

14:00

～

16:30

地方創生、地域活性化にむけて[応用編]

- ・100万人が来る図書館
- ・武雄市での教育改革
- ・自治体競争を生き抜く勘所
- ・ふるさと納税制度の活用方法

ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐

元佐賀県武雄市長
樋渡社中 Founder&CEO

1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁(現総務省)に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100万人の武雄市図書館の実現を図り、日経 BP「日本を立て直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。

支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月25日	整理番号	5478-12
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費			
金 額	¥10,000			検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い	1. 現 金	
	住 所	金融機関		2. 小 切 手	
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	支 店			
	職氏名	預金種別			
		口座番号			
		伺 残 額		¥441,545	
摘	研究研修費	支払予定日	平成27年10月6日		
要	10/7~10/9 第77回全国都市問題会議参加負	支払明細 整理番号	001		
	担金(丸谷議員)	請求書番号			

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙



支出負担行為確認



支 払 済



2015000547801123

泉大津市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 25 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷正一郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	10,000円		
内 訳	第77回全国都市問題会議参加負担金		
支 払 先	東武トップツアーズ株式会社		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	441,545円
使 用 者 名	丸谷 正八郎		

会議参加費領収証

丸谷 正八郎 様

金 10,000 円

但、「第77回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成27年10月7日

第77回全国都市問題会議実行委員会

会 長 加 藤 久 雄

No. 0102



支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 泉大津市	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年9月25日	整理番号	5478-13
年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費		確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費		タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費		源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業		被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金		通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費			
金 額		¥70,520		検収者	印
控除額				支払方法	通常支払
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現 金 2.小 切 手
	住 所			金融機関	
	名 称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎			支 店	
	職氏名			預金種別	
				口座番号	
				伺 残 額	¥371,025
摘 要	旅費			支払予定日	平成27年10月6日
	10/7~10/9 第77回全国都市問題会議参加旅			支払明細 整理番号	001
	費(丸谷議員)			請求書番号	

上記の金額を領収しました。
平成27年10月6日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙

支出負担行為確認



支 払 済



2015000547801132

泉大津市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9月 25日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	70,520円		
内 訳	10/7~10/9 長野市 第77回全国都市問題会議参加旅費		
支 払 先	丸谷 正八郎		
予 算 科 目	旅費	交 付 残 額	571,025円
使 用 者 名	丸谷 正八郎		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月7日			帰庁 27年10月9日			
出張先(順路) 長野市 ホクト文化ホール(長野市若里1-1-3)								
目的及び用件 第77回全国都市問題会議に出席								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (JR北陸本線) 金沢	267.6	7,880	特急料金 1,450					9,330
" (北陸新幹線) 長野	495.7 228.1		特急料金 (かがやき) 4,960		2泊 30,000	3日 10,500		45,460
" 復路		8,600	6,410					15,010
							計	70,520

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

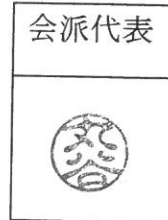
会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月7日			帰庁 27年10月9日			
出張先(順路)		長野市 ホクト文化ホール(長野市若里1-1-3)						
目的及び用件		第77回全国都市問題会議に出席						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (JR北陸本線) 金沢	267.6	7,880	特急料金 1,450					9,330
" (北陸新幹線) 長野	228.1		特急料金 (かがやき) 4,960		2泊 30,000	3日 10,500		45,460
" 復路		8,600	6,410					15,010
							計	70,520
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 70520			
平成 年 月 日				職名	市民クラブ			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	丸谷 正八郎			



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成27年10月14日			
差 出 名		市民クラブ 丸谷 正八郎						
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成27年10月14日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合 議
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：平成27年10月7日（水）～10月10日（土） 出張先：長野市ホクト文化ホール 目 的：第77回全国都市問題会議								

報 告 書



平成 27 年 10 月 14 日

泉大津市議会議長 殿

(会派名) 市 民 クラブ

出張者氏名 丸谷 正八郎 

下記により出張致しましたので、その概要について報告いたします。

記

- 1、日 時 平成 27 年 10 月 7 日(水) ～ 10 日(土)
- 2、出 張 先 長野県 長野市
- 3、目 的 第 77 回「全国都市問題会議」

<会 場> 長野市 ホクト民文化ホール

(主 催) 全国市長会、公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
公益財団法人 日本都市センター、長野市

(協 賛) 全国市長会館

4、報告事項

(第1日目) 10月8日(木)

<基調講演>

「世界の山々をめざして」 講師 田部井 淳子 (登山家)

1939年福島県三春町生まれ。1969年「女子だけで海外遠征を」を合言葉に女子登攀クラブを設立。

1975年、世界最高峰エベレスト 8,848mに女性として世界で初めて登頂。

1992年、七大陸最高峰登頂者となる(女性世界初)。

年数回海外登山に出かけ、現在までに70カ国以上の最高峰に登頂。

20～40代女性のための「山の会 MJ リンク」呼び掛けた人。

メディアへの出演や執筆、健康山登り教室の講師、講演などを通じて山登りの楽しさを多くの人に伝えている。最近の出版物に「それでもわたしは山に登る」や「山の単語帳」などがある。

山登りを通して、人間形成に役立つ物があることや人脈を通しての地域の活性化など幅広い活動を紹介された。

現在は「東北の高校生の富士登山～登ろう!日本一の富士山へ～」として、被災した東北の高校生を日本一の富士山へ登ってもらおう計画を実施している。

明日の東北を担う若い世代のために活動している。

富士登山の参加したことで勇氣と元氣と前向きさを感じてもらえたことは本当に良かったと思いました。

この体験が、今後の東北の復興の力になると信じています。

「東北の高校生の富士登山」をこれからも続行したいと心から願っています。

(所 見)

講師 田部井淳子様との体験談を聞かせて頂き、人と人の繋がりや何でも自分で体験することで、人と人を結びつけ交流の輪が広がって地域の活性化に寄与することが出来ると感じました。

特に登山の経験が役立っている「東北の高校生の富士登山」は被災者の気分転換だけでなく、やる気と行動力を起させる本当に良い計画であると思いました。

気取らない性格と明るい性格が人を引きつけ、人脈を通して地域に出向きシャンソンコンサートを開催する等、多種多様の活動に感動いたしました。

＜主報告＞

「新たなコミュニティの構築をめざして」

長野市長 加藤 久雄

1) 活き生き「ながの」元気な長野

ー 人口減少の克服に向けて オール長野の力を結集 ー

1942 年、長野県長野市生まれ。1965 年に早稲田大学第一政治経済学部卒業。

1967 年、株式会社穂本久に入社、1985 年に代表取締役社長に就任。

2007 年～2013 年まで長野商工会議所会頭・長野県商工会議所連合会会長を務め、長野の経済界を牽引してきた。2013 年 11 月長野市長就任、現在 1 期目。

少子高齢化・人口減少対策に全力で立ち向かい、元気と活力にあふれるまちづくりの実現に向けて取り組みを進めている。

＜人口減少の克服に向けて＞ 3つの施策

- ① 健康長寿・少子化対策・企業誘致などを推進し「定住人口の増加」を図ること。
- ② 新幹線延伸に伴う賑わいを生む観光などを推進し「交流人口の増加」を図ること。
- ③ 中山間地域活性化や農林業振興などを推進し「特色ある地域づくり」を図ること。

以上を基本として、「少子化対策」「移住・定住促進」「働く場の確保」「観光による交流人口の拡大」「スポーツを通じた交流人口の拡大」「住民自治の推進」「中山間地支援」「農林業の振興」など、様々な取り組みを実施している。

(所 見)

未来は「待つもの」ではなく「つくるもの」である。子どもや孫、またその子どもたちに私たちは大きな責任を負っている。先人の努力の上に今の私たちがいるのと同様に、未来の子どもたちは私たちが成したところで生きていかざるを得ない。

市長は、商工会会頭などを歴任し、民間経営の経験を活かし、活き生き「ながの」元気な長野の実現に向け様々な取り組みを実施している。

新幹線延伸により観光客の増進を図り人口交流を拡大し、定住人口に結びつけ人口減少にストップをかけるよう事業の展開を行っています。

古くから「善光寺」を中心とした観光資源を活かし更なる発展が期待できると感じました。「官・民・学」の連携をいかにして進めていくかが今後の課題と思いました。

＜一般報告＞

「都市の魅力づくりと交流・定住」

人口減少社会に立ち向かう 連携の地域活性化戦略

立教大学観光学部兼任講師 観光地域づくりプラットフォーム推進機構会長 清水 慎一

長野県小諸市出身、1948 年生まれの団塊の世代。1972 年、東京大学法学部卒業後の日本国有鉄道に入社。JR 東日本に移行し本社取締役営業部長、取締役仙台支社長を歴任。

2004 年(株)ジェイティービー常務取締役に就任。訪日ツーリズム推進や地域交流ビジネスを打

ち出す。2011年4月～2013年3月まで立教大学観光学部の特任教授。現在「観光地域づくりマネージャー」を育成する「清水塾」塾長のほか各地のシンポジウムや勉強会の講師を務める。

① 地方創生の柱は「観光地域づくり」である。

観光客のニーズや動向の変化が追い風となる。

今の観光のキーワードは「地域らしさ」「まち歩き」「五感で味わう」、まちを歩いてその地域にしかない「自然」や「歴史・文化」「食・暮らし」など「雰囲気」を五感で楽しむ観光地が人気である。

② 「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりが必要である。

美しく、個性的で生き生きとした、まちづくりを進めること。

「まち歩き」が楽しめるまちづくり＝人間にやさしいまちづくりを進めること。

② 従来型の観光振興に対する総括が前提として

- ・ マーケティングをおろそかにしていないか？
- ・ 成果のチェックが行われているか？
- ・ まちの PR や情報発信に偏っていないか？
- ・ 一過性のイベントに終始していないか？
- ・ 一部の観光業者だけの観光振興、観光協会になっていないか！
- ・ 行政主導、行政からの補助金で成り立つ観光協会主導になっていないか！
- ・ 発地の旅行会社主導になっていないか！

などを、常に検証しながら事業展開を図ることが重要である。

(所 見)

人口減少が急速に進むことで地域経済が縮小していく厳しい環境のもと「交流人口の拡大による地域活性化」(観光振興による豊かな地域づくり)すなわち「観光地域づくり」が重要な政策課題になってきた。

長野には「素晴らしい観光資源」が沢山あります。観光交流がもたらす経済効果や活力・創造力が地域課題の解決を促進します。

目指すべきは「観光地づくり」ではなく「観光地域づくり」を目指すべきである。地域外の人々との観光交流(交流人口増加・滞在時間増加・消費金額増加など)から生じる様々な効果(経済効果・誇りの醸成・生きがいの創造など)を地域の「あるべき姿」に向けた取り組みに生かす活動を推進していくことが、今後のテーマであります。

「観光地域づくり」が長野市創生の鍵を握ると感じました。

観光などが少ない泉大津市での交流人口の増加を、どのようにして進めていくのか「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりが出来れば、人口減少に歯止めが掛けられると痛切に感じました。

<一般報告>

「地域資源を活かした連携によるまちづくり」

愛知県豊田市長 太田 稔彦

1954年、愛知県豊田市生まれ。早稲田大学商学部卒業。1977年、豊田市役所に入庁。行政経営課長、総合企画部長を歴任し、2012年2月に豊田市長に就任。現在1期目。

「暮らし満足都市」「環境先進都市」「ものづくり中枢都市」「安全安心都市」の4つを重点分野として施策を推進。市域の7割が森林という特性を活かし、都市と農山村をつなぐ役割を担う「おいでんさんそんセンター」を開設。スマートシティを見せる化する「とよたエコフルタウン」を整備。国内外から多くの方が訪れている。ラグビーワールドカップ2019の豊田スタジアム開催を誘致。更なる国際化に向けた取り組みを進めている。

「地域資源の地産地消」を進めていくために「We Love とよた」を合言葉とした取り組みを進めている。その事例の一つが「とよた まちさと ミライ塾」です。

都市部も農山村部も合わせて、様々な市民・団体・企業がアイデアを出し合い、今ある資源や今ある豊田市の良さを磨き上げ、「とよた ならでは」の魅力的なプログラムを創りだしました。初めて取り組んだ平成26年度には、農山村部から、イノシシ丸ごと1頭を解体から調理まで体験できるプログラム、都市部から発売直後の燃料電池自動車を試乗できるプログラムなど、地域の資源を活かしたプログラムが出来上がり、10月～11月の約2ヶ月にわたって、73のプログラムに3,000人近くの方が参加された。

豊田市は、ラグビーワールドカップ2019の開催地の一つに決定しています。またオリンピックも控えるなかで、これからの国際的なイベントを契機とした国際化や外国人観光客の受入れも視野に入れながら、まちづくりを進めて行く事を考えています。現在、新たな市の総合計画を策定している最中です。この新総合計画は、本市にとって初めて「人口減少社会」を見据えた計画となるため、そのなかで都市の魅力づくりを行い、新しい価値、新しい都市の姿を構築していくことを目指してまいります。

(所見)

豊田市は、愛知県の北部に位置する、人口約42万人のまちであります。製造品出荷額等が全国1位のクルマのまちであり、ものづくり中枢都市としての役割を担っています。製造業を中心に人口が集積する都市部と、市域の7割を森林が占める自然豊かな農山村部を併せ持つ都市であります。

高齢化率は16.6%(平成22年)と全国値よりも低くなっている。しかし豊田市は高度成長期に自動車産業の発展とともに急速に人口が増加したまちであることから、今後は急速に高齢化が進行し、10年後には65歳以上人口は1.5倍、75歳以上人口は2倍に増加する見込みである。「地域資源を活かした連携によるまちづくり」を推進することで、定住人口増加を図って行けると思いました。財政が豊かな豊田市では様々な取り組みが実現しやすい環境にありますが、都市部と農山村部の交流事業の成功が、その鍵を握っています。

泉大津市では、新興住宅に住んでいる住民といかにして取り組んで行くかが課題です。

<一般報告>

「一五輪一会」

株式会社 文化事業部 代表取締役 セーラ・マリ・カミングス

ペンシルバニア州大学卒業後すぐに長野冬季五輪の仕事をするため来日する。

1988 年(株)柗一市村酒造場取締役役に就任。小布施を中心に燻瓦や茅葺きの復活、蔵の改装など景観を活かしたまちづくりをしてきました。まちを挙げた「小布施見にマラソン」や月に一度講師を招いて行う「小布施セッション」などのイベントも企画。

現在は里山再生を中心とした事業を行う、(株)文化事業部と木桶文化の継続を目的とした NPO 法人桶仕込み保存会の代表を務めています。

① 環境が変わると人が変わる。

柗一の再構築をしたとき改装前はあまり目立たなかった社員が、改装後はぐんぐん伸びていきました。環境が変わると意識が変わり、良い空気になると思います。

原点に帰ると考え「スクウェア・ワン」という新たなブランドとともに再スタートをきったこともあります。

② 民間との協力と競争。

プロジェクトごとに適任者を集め実行委員会方式を実施しています。

「小布施見にマラソン」も実行委員会方式でスピーディーな決断と低いリスクで実行できました。

民間の会社だと常に職場の環境を改善し続けるのに対し、行政は何十年も環境が変化していないと思う。

しかし、行政は信頼が厚いので広がりをつくりには行政の力が必要であると考えます。

お互いの強みを生かして協力していけば良いと思います。

③ 世代間を超えた交流(先輩と後輩をつなぐ)

行政の補助のもと様々な教室がありますが、60 歳以上限定とか定員 20 名とかで若い人たちが、なかなか参加できない。もっと世代間を超えた交流の場を作れたら、まちがもっと活性化するのではないかと考える。

オブセッションは学生をフリーにする代わりに、当日ボランティアとして働いてもらいました。

そうすることで学生が参加しやすい形にしました。講演後のパーティーは学生も大人も同じ目線で交流できるようにと考えました。

④ 持続可能な里山

里山を守れなければ町は守れないと考える。農村文化を見直し持続可能な里山を目指す。

限界集落も限界を過ぎれば無限界と考え「MUGENKAI」という会を新たに始めました。

「かのやまプロジェクト」を実行していく上で、実際に何をしていけばいいのか議論する会です。

様々な分野の力を借りることで切り開いていくことが出来ると思います。

(所 見)

外国人の感性で未来を切り開く、目線を変えれば突破口が見えてくるように感じさせられました。地の利・人の利を活かし文化の継承を行いながら地域の活性化が出来ている事に関心しました。

5、報告事項

(第2日目) 10月9日(金)

パネルディスカッション

<コーディネーター>

一橋大学副学長 同大学院法学研究科教授

辻 琢也

<パネリスト>

両備グループ代表兼 CEO

小嶋 光信

地域再生プランナー

久繁 哲之介

信州大学全学教育機構基幹教育センター教授

橋本 純一

岡山県真庭市長

太田 昇

愛媛県今治市長

菅 良二

テーマ「都市の魅力づくりと交流・定住」

1) 日本再生と地方創生の7つの処方箋 (小嶋 光信 氏)

2) トレードオフで考える「コンパクトシティは、人口減少を加速する」 (久繁 哲之介 氏)

3) Jクラブと都市活性化「公共財としての Jクラブの重要性と魅力」 (橋本 純一 氏)

4) 「里山資本主義」真庭の挑戦 <日本の農山村モデルを目指して> (太田 昇 氏)

5) 多彩な連携による都市の魅力づくり (菅 良二 氏)

(所 見)

5 名のパネリストの方々の、お話をお聞きました。様々な分野で地域の活性化に取り組み、人口減少問題の解決に力を入れていることを知りました。

公共交通機関の仕組みを新たにし、人を呼び利用者の増強を図り持続させている。また、スポーツを通じて交流の場を創り、異世代交流と「Jクラブ」の応援と支援で連帯感が生まれ地域の活性化を図っている。

地元資源の活用(バイオマス発電)や地場産業(今治タオル)の技術を磨き、更なる進化を遂げることで付加価値が生まれ、地域産業を核となり活性化につなげていること等、各地域の特徴を活かした、事業展開に感心させられました。

また、官・民の連携のあり方を見直し「スローガン」を挙げて行う事業よりも、現在すでに頑張っている活動に行政は積極的に支援すべきである。そうすることで官・民の連携がスムーズに行ける事例が多いことをお聞きし今後の施策の展開のヒントを頂いたと思いました。

第2日目 10月9日（金）午後1時～ 視 察

（Eコース）ボランティアガイドと巡る善光寺表参道と東山魁夷館コース

長野駅から善光寺まで表参道を歩きながら「長野市善光寺表参道ガイド協会」のボランティアガイドさんの案内で視察いたしました。

国宝「善光寺本堂」について、宝永四年（1707年）に再建された現在の善光寺本堂は、江戸時代中期を代表する仏教建築として国宝に指定されています。

間口24m、高さ30m、奥行き54mという壮大な伽藍は東日本最大で、最奥部にある仏堂の手前に広大な礼堂（らいどう）を繋ぐ棟の形が、鐘を叩く撞木（T字型）に似ていることから「撞木造り（しゅもくづくり）」と呼ばれています。

裳階（もこし）を廻らせた二重屋根は総檜皮（ひわだ）葺きとしては日本一の規模を誇っています。

仲見世通りを抜けて、駒返り橋を渡れば境内に入ります。

善光寺境内には、八つの名所があります。

- 1、内陣 2、御本尊 3、御開山（本田善光卿） 4、お戒壇めぐり 5、外陣
- 6、経蔵（重要文化財） 7、日本忠霊殿 8、鐘桜

それぞれの説明をお聞きし歴史と文化を肌で感じられました。

その後、隣接する東山魁夷館に行きました。

長野県の風景を好んで招いた日本画家「東山魁夷」の作品を鑑賞いたしました。

（東山 魁夷）

明治41（1908）年、横浜に生まれ、3歳のときに神戸に移る。

東京美術学校日本画科を卒業。昭和8（1933）年ドイツに留学する。

日展に出品をつづけ、昭和22（1947）年、特選受賞。

昭和31（1956）年、日本芸術院賞受賞。

昭和40（1965）年、日本芸術院会員となる。

昭和44（1969）年、文化勲章受賞。皇居新宮殿壁画、唐招提寺御影堂障壁画等の制作。

平成11（1999）年5月6日逝去（享年90歳）。

午後5時30分に長野駅到着し解散いたしました。

9日（金）は、同ホテルに一泊し、10日（土）10時13分発の東北新幹線「かがやき521号」に乗車して帰宅いたしました。

支出命令書

決裁日 27 年 9 月 25 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成27年9月25日		整理番号	5478-14	
年 度	平成27年度	会 計	一般会計				予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費				確 認 事 項	確 認	
項	1	議 会 費				タイムカード(出勤簿)		
目	1	議 会 費				源 泉 徴 収		
細目	4	議会調査研究事業				被服貸与台帳記載		
節	19	負担金、補助及び交付金				通勤経路及び金額		
細節	45	政務活動費						
金 額	¥105,760					検収者	印	
控除額						支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999	住所 名称 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎 職氏名				支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	金融機関							
	支 店							
	預金種別							
	口座番号							
	伺 残 額					¥265,265		
摘 要	旅費 10/21~10/22 地方創生、地域活性化					支払予定日	平成27年10月20日	
	に向けて【応用編】受講及び(株)図書館流					支払明細 整理番号	001	
	通センター視察旅費					請求書番号		

上記の金額を領収しました
平成27年10月20日
年 月 日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民クラブ代表者 丸谷 正八郎

収入印紙

支出負担行為確認



支 払 済



2015000547801141

泉 大 津 市



27.9.25

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成27年 9 月 25 日

泉大津市長
伊 藤 晴 彦 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	105,760円		
内 訳	10/21～10/22 地方創生、地域活性化に向けて【応用編】受講及び（株）図書館流通センター視察 旅費		
支 払 先	丸谷 正八郎、南出 賢一		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	265,265円
使 用 者 名	丸谷 正八郎、南出 賢一		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)							
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
(南海本線)		円	円					
難波		440						440
"								
(地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
"								
(地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
"								
(南海本線)								
泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)		アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)						
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
(南海本線)		円	円					
難波		440						440
"								
(地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
"								
(地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
"								
(南海本線)								
泉大津		440						440
(線)								
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。
 平成 年 月 日

 泉大津市会計管理者 殿

金額 ¥52,880
 職名 市民クラブ
 氏名 丸谷 正八郎



平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	南出 賢一				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)							
目的及び用件	地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4	8,750	特急料金 (のぞみ) 5,700		1泊 15,000	2日 7,000		36,450
" (東京メトロ丸ノ内線) 茗荷谷		170						170
" (東京メトロ丸ノ内線) 霞ヶ関		200						200
" (東京メトロ丸ノ内線) 東京		170						170
" (東海道新幹線) 新大阪	556.4	8,750	特急料金 (のぞみ) 5,700					14,450
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

主管課用

平成27年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	南出 賢一				
出発・帰庁年月日		出発 27年10月21日		帰庁 27年10月22日				
出張先(順路)		アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区八丁堀1-9-8) (株)図書館流通センター(東京都文京区大塚3-1-1) 日比谷図書文化館(東京都千代田区日比谷公園1-4)						
目的及び用件		地方創生、地域活性化に向けて【応用編】 学校図書館事業について						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津	km			円	円	円	円	円
(南海本線)		円	円					
難波		440						440
"								
(地下鉄御堂筋線)								
新大阪		280						280
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)		1泊	2日		
東京		8,750	5,700		15,000	7,000		36,450
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
茗荷谷		170						170
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
霞ヶ関		200						200
"								
(東京メトロ丸ノ内線)								
東京		170						170
"			特急料金					
(東海道新幹線)	556.4		(のぞみ)					
新大阪		8,750	5,700					14,450
"								
(地下鉄御堂筋線)								
難波		280						280
"								
(南海本線)								
泉大津		440						440
(線)							計	52,880
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。

平成 年 月 日

泉大津市会計管理者 殿

金額 ￥52880

職名 市民クラブ

氏名 南出 賢一



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成27年12月17日			
差 出 名		おづ 中谷 昭、貫野 幸治郎 市民クラブ 丸谷 正八郎、南出 賢一						
あ て 名		泉大津市議会議長 貫野 幸治郎				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成27年12月16日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合 議
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：平成27年10月21日（水）～10月22日（木） 出張先：東京都中央区 アットビジネスセンター東京八重洲通り （株）図書館流通センター本社（東京都文京区）、日比谷図書館 目 的：地方議員研究会主催、地方創生セミナーに参加 図書館流通センターの取り組みについて								

2015 年 12 月 16 日

泉大津市議会議長 貫野 幸治郎殿

(報告者)

おづ

中谷 昭

貫野 幸治郎

市民クラブ 丸谷 正八郎

南出 賢



視察報告書

下記の通り、ご報告申し上げます。

記

日時 2015 年 10 月 21 日 22 日

目的 ①地方議員研究会主催、地方創生セミナー参加のため

地方創生、地域活性化にむけて

講師：樋渡啓祐（元 佐賀県武雄市長）

場所：東京都中央区 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

②図書館流通センターの取り組みについて

場所：株式会社図書館流通センター本社（東京都文京区）・日比谷図書館

①地方創生、地域活性化にむけて

（講演内容について）

【午前中の内容のおさらい】

市長就任当初、世間に知られていない武雄市の知名度を向上させるために3つのポイントを大切にしながら市政経営を行った。1点目は、一番旬のもの（人）を活用すること。例えば、図書館はツタヤと組んで企画運営をするというもの。誰も想定しないような組み合わせによって、メディアが喜んで報じてくれる。2点目は、スピード感。政治力の力によって行政のスピード感を上げるというもの。3点目は、笑い。例えば、市民病院の民間譲渡を争点にした時、リコールになった。しかし、この時も組織内に笑いがあり、病院経営上手くない時でも笑いがあった。危機的状況でしんどい時こそ、トップが空気感をつくることである。最初から完成したものをつくろうとすると失敗するものである。最初は3割からはじめて、PDCAを繰り返しながら10割に仕上げていくというやり方がよい。

【自治体にお金はないのか？】

これは大ウソであり、物事は疑ってかかった方が良い。行政は一般質問で、厳しく追及をされるのが一番嫌なものである。そして、首長は、レクチャーの時に職員に洗脳される。就任当初の財政レクチャーの時に「埋蔵金出せ！」と言った。行政には、公共施設整備基金があり、法律で基金を積み立てることが決まっており、当時は40億円以上あった（財政規模は200億円。基金残高全部で約90億円）。これらを使うことで一般会計財政に影響させることなく運営をした。

【市内バスについて】

バスは循環型はうまくいかない。病院やショッピングセンター等を核（ハブ）にして走らせることで、マーケットを最大限生かすことができる。武雄市のバス事業は4000万円かけているが9000万円の経済効果を生んでいる。

【議会について】

一般質問ではケーブルテレビが入っており、傍聴が山のように来る。そして、視聴率50%越えで、平均視聴者は4000人。このように盛り上がっている要因は、「議会を【政策決定の場】にしたこと」。検討します、努力します、という表現は辞め、その場で市長が政策決定をやるというように、議会を劇場化した。

【官が一番なのか？民が一番なのか？】

武雄市の場合は、市が一番の企業であり、官が先駆けてやることは大切である。例えば、国家ビジョンのもと鉄が必要になることから、官営八幡製鉄所は国家予算の4割を投じてつくった。それは、民間ではできなかったことである。最初は官ではじめ、官でできない時代が過ぎれば民間に安く売却し、そこからは民の力を結集して伸びていくというものである。

【ブランディングについて】

武雄市で有名になったレモングラス。ホテルオークラではレモングラスの飲み物を1500円で販売していた。その原材料はホテルの裏で栽培されていたのである。安く作って、高く売る、これをヒントにして武雄市では無農薬レモングラスを手掛けた。

最初からブランドは低価格で販売してはダメである。そこで、最初に狙ったのは、新宿の伊勢丹の紅茶売場。提案当初は「まずい」との評価であったが、バイヤーにアドバイスをもらい、改善を繰り返し2年の歳月を経て導入が決定。2800円という高価格で販売したが、これが飛ぶように売れた。原価はなんと40円である。また、最初に摘むファーストフラッシュについては6000円の値がついた。

このような流れができ、レモングラス農家が増えそうになったが、ブランド価値の低下

を防ぐために7軒で打ち止めをした。レモングラス農家は儲けており、皆自信がつき、今ではパクチー栽培にも着手している。いったん成功事例つくると、また新たなものづくりたくなるものである。

【何がなんでも公募しなくてはいけないのか？】

結論から言うと、入札が日本の公共施設をダメにした。値段が最優先され質が低下。公募万能主義は、業者の士気も技術レベルもダメにしていく制度である。当然、創意工夫はお金がかかるものだ。

武雄市図書館とツタヤの連携は大批判を浴びた。「随意契約で癒着してるじゃないか？」と問われたが、はっきりと「明るい癒着です」「オープンにしているので決めるのは議会で決めて下さい」と述べている。常識を疑うことが大事であり、随意契約でよかった例と公募でダメになった例も提示。コストだけの話なら公募でよいが、人もの金を呼び寄せるものをつくるにあたっては創意工夫の知恵が必要であり、発案者の存在も当然ある。それを、公募によって、価格最優先で決定するのは、歪んでいるとしか言えない。決定するのは、政治の役割であり、すべてコストの問題にしてしまうと何もかもが疲弊してしまう。

【図書館改革について】

蘭学館は一日6人の利用で、年間に1500万円投じていた。改革を行うために批判を浴びながら、市民ボランティアを入れ、2013年4月1日にリニューアルオープン。21時までの開館にしたことで、主婦、塾帰りの子どものハブとなり、昼間にはサラリーマンが訪れ商談の場にもなった。高齢者がターゲットと思っていたら全年齢層が訪れ、貸し出し冊数は3倍になり、滞在時間は4時間と伸びた。

【教育改革について】

タブレットを全小学生と中学生に配布をした。効果として、予習を家でやるようになり、復習を学校でやるという、反転授業が生まれた。理科と算数はタブレットがよいに決まっている。動画で見た方がわかりやすく、かつおもしろく、理解が早い。

授業の最後には15分間小テストやることで、誰がどこを間違い、正解しているのかも把握できる。これにより、理解している子、していない子の把握が先生のイメージから、正確なものへと改善ができた。そして、算数と理科が楽しいと影響が広がっている。例をあげると、不登校率の減少、いじめの減少、学力向上につながっている。

理科の教材はニュートン、算数はワオ・コーポレーションが担っており、学校の先生と一緒につくっている。これは、学校そのものを塾と一体化させようという狙いがある。なぜ学校が面白くないのか？その大きな要因は、明治5年の学制公布から、年齢をわけて単学年にし、一方通行の授業が行われているからだ。メリットは、どんな貧しい子も来れる

ことだが、金太郎あめみたいな教育になり、多様性のある人間が育ちにくくなっている。

武雄市に成功例が多いのは、失敗の反対をやるからである。学校が官で独占されたら民の力を入れる。学校では官民一体型授業を実施するために、はなまる学習会と提携。これまで通りの教材を使用し、教えるのは教員だが、塾講師が助言をしている。

学習塾の指導法を大胆に取り入れることで、教員は当初とまどい、反対の先生もいたが、今では一番反対していた先生が一番の応援者になった。2015 年春から小学校 12 校のうち 2 校で開始され、来年から 5 校での実施となる。導入校では、成績が伸びている。中学校は地元の塾との連携に向けて動き出している。

【議員は政策関与できないか？】

最大の政策関与は一般質問である。市民が聴きたいのは、制度ではなく、なにをどうするか。議場にはモニターを 3 台入れ、資料や写真、グラフを使うので、制度の説明もわかりやすい。市の方針決定は記者会見を行わず、すべて議会で行うようにしている。記者会見と議会で言っていることが違う場合、突っ込まれる要因にもなり、こうすることでメディアが議会傍聴に来るようになった。

劇場型を意識しているため、放言、撤回、暴言謝罪は日常的。世論喚起の為にわざとやっていたこともある。最大の悪は無関心であり、どうやったら市民が関心を持つかを考え行動している。

【議員は日頃なにをやるべきなのか？】

人気ある議員は一般質問終わったら、チラシを作成し全戸配布を行っている。そこに集会のお知らせも入れておくことが大事。武雄市議の 3 割はチラシ発行しているが、一番最悪なのは新聞折り込みである。手配りはわざわざ感が出て、少しでも配ってくれるファンがいると、ファンがファンを呼ぶものだ。

例えば、アップル社は広告費ほとんど使っていない。良いものは伝えたいのである。

悪い例：世界最薄・・・政策を売っている。

良い例：これを使ったら世界一の体験ができる・・・物語を売っている。

アップルの戦略は物語を販売し、客が評判を広めることである。

【議員の報酬は増やすべき】

議員一人の報酬にスポットをあてるのではなく、総人件費に着目をさせるべき。

一般会計の 2 割、というとメディアも納得し、結果的には議員を減らして報酬を上げた。

【広報戦略について】

広報誌でおいしいレストラン特集を組んだ。すると掲載店舗は 300%の客入りになったが、公平性に欠けると大批判を受けた。そこで、掲載される基準を設け、隠れミシュランがチ

エックをするという仕組みを導入。これにより、店側の努力も促すことができた。

武雄バーガーの店を掲載したことで、その店は口コミで大繁盛。こういう成功事例が出たことでスターがスターを呼ぶ結果を招いている。

稼ぐ自治体、儲かる自治体は、稼げない部分である福祉や子育てに再投資ができる。人や店が儲かれば、税収が増えるので、ネット販売も手掛ける等、既成概念に捉われない仕掛け方をやっている。市内に儲けている店が増え、店舗の意欲も高まっている。

【図書館整備の過程について】

進めるにあたっては、市民ボランティアを 200 名募り、CCC（ツタヤ）と教育委員会から猛反対があった。しかし、プロセスに市民を入れることで、結果として市民が喜び、一緒に苦労して、涙流し、一緒に達成感や感動を味わうことができた。こういうストーリーをつくれるのは行政である。我々行政はその舞台にいることを自覚すべきであり、政治家は自分の意見を開陳する議会という場がある。

図書館運営費は、公設公営時代には 145 百万円の運営予算だったものが効果を出しながら、10 百万円削減することができている。ツタヤのメリットは市の仕事をしていることであり、ブランド価値が上がること。

現在の図書館の1年間の経済効果は 20 億円に上っている。ど田舎である武雄市の図書館をみればわかるように、地方、田舎、不便は言い訳にならない。本当に良いものを作ったら人は来るのである。

②図書館流通センターの取組みについて

図書館流通センターは本の選書、1冊1冊の情報整理をして、全国約 3000 の公共図書館に情報提供、納品等、図書館業務に関わる川上から川下までのサービスを提供している。現在、泉大津の図書館においては受付業務を図書館流通センターに業務委託している。

図書館の運営については窓口業務委託から指定管理、PFI と請け負っているケースは様々であるが、着目すべきは単なる図書館運営に留まらず、情報発信拠点としての図書館の新たな取り組みを行っているところである。例えば、長崎市立図書館では病院と連携し、がん情報コーナーを開設。様々な資料を用意するだけでなく、図書館を拠点に講座を開催したりと、政策推進に図書館機能を最大限生かしている。

また、地域への郷土愛を育むための仕掛けとして、地元の歴史文化にまつわる本を管理し、地元社会教育団体や教育機関と連携をして、図書館を活用した地域学習をサポートする取り組み支援等も手掛けている。その他にも、図書館を活用したまちづくりや、図書館整備のノウハウ等、幅広いノウハウを蓄積している。

当日訪れた日比谷図書館においては、本を読んだり勉強をするのに居心地のよい環境に加え、wi-fi 整備、カフェやレストランの併設をし、一日中ゆったりとできる空間づくりを

している。また、図書館によって、どの分野の選書に力を入れるのかカテゴリー分けをしており、大都市だからこそできる取り組みであると感じた。

所見

樋渡氏から学んだことはリーダーシップ論である。目的を定め、実現するための緻密な戦略と道筋づくり、手段は既成概念にとらわれず、大胆に実行力をする。堂々と公開の場で討論をしながら必要な空気感をつくっていく。この背景には、議会への地道な根回しや、市民とのコミュニケーションを大切にしていることもはっきりとわかりました。市役所組織においては、報連相を極力辞めさせて、ポジションに応じた決断を意識させることで主体性を持たせるという、組織マネジメントにおける理念も明確である。

数々の成功事例については参考すべきではあるが、特にその背景の理念や地道な取り組みの部分にしっかりとフォーカスをする必要があり、むしろ後者から学ぶべきことの方が多く感じた。

また、図書館流通センター本社にてレクチャーを受けてわかったことは、日々発売される本の情報整理量（力）は唯一無二であること。全国図書館での先進事例や実現ノウハウ、また 300 万冊を越える本を扱い知識の宝庫としても、利活用できることがたくさんある。今後、泉大津の図書館においては建て替え等の課題を抱えており、まちづくりにおける図書館を活かした戦略は非常に大事な要素となってくる。教育や文化レベルの向上、コミュニティ創出やまちづくりの推進に資する図書館のあり方を、あらゆる角度から進めていきたい。

図書館運営については、CCC運営の武雄図書館と図書館流通センターが運営する図書館とでは理念に隔たりがある。前者の図書館は、図書館で本を借りたり読んだりすることを目的に来る人ばかりではないということ。つまり、スタンダードな図書館がまちに一つ備わっていてこそ、武雄のような図書館がより生きるものとなると考える。本質的にはスタンダードな図書館機能を備えた上で、副次的にコミュニティづくりの仕掛けを行っていくことが、図書館整備に際して大切であると考えている。